

7月放送総局長定例記者会見要旨

**(1) 2019ラグビーW杯関連番組 (木田放送総局長)**

世界中が熱狂するスポーツの祭典「ラグビーワールドカップ」が、9月20日、日本で開幕する。NHKスペシャルでは、2回シリーズで“フィールドの格闘技”ラグビーの神髄をえがく。

第1回は、世界の強豪の“究極のプレー”を“最新科学”で徹底解析。番組では、撮影した映像の視点を自在に変えられる「自由視点映像」という手法を初めて導入し、去年行われた、ワールドカップ2連覇中の“王者”ニュージーランドとライバルのオーストラリアの一戦を撮影した。まるでフィールドにいるような圧倒的な迫力映像をもとに、研究者やラグビー界のレジェンドたちと科学的に分析した結果、見えてきた“究極”の世界をお伝えする。

第2回は、日本代表に注目する。前回大会では、優勝候補だった南アフリカを破り、「スポーツ史上最大の番狂わせ」と言われたが、目標のベスト8進出はならなかった。目標達成に向けて日本代表が導入したのが、「リスクを恐れず、状況判断しながら大胆に攻める」戦い方。この戦術は、一気にチャンスをつかむ可能性がある一方、失敗すれば相手にボールを奪われ、大きなリスクを負いかねない。いまチームは、日本代表史上最も過酷と言われる猛特訓を行いながら、戦術の徹底を図っている。

番組では、自国開催で国民の大きな期待を背負う選手たちに長期密着し、取材から見えてきた勝利の可能性を明らかにする。

また、NHKのラグビー番組で使用するテーマソングが完成した。曲名は「ECHO」、歌うのは「Little Glee Monster」。彼女たちの美しく力強いハーモニーが、応援する人の気持ちを盛り立て、激しい戦いに臨む選手たちを奮い立たせてくれるものと期待している。

NHKでは、ワールドカップ全48試合のうち31試合を放送する。このうち、総合テレビでは日本対アイルランド戦など3試合を、BS1では開幕戦の日本対ロシア戦や決勝など11試合を生中継する。

また、ワールドカップ本番を前に、日本代表が出場するパシフィックネーションズカップとテストマッチを、3試合中継する。このうち9月6日のテストマッチでは、強豪・南アフリカとの対戦を中継する。

(詳細は報道資料を参照)

**(2) スポーツ×ヒューマン「TOKYOへの“一発勝負”～史上初！マラソン五輪代表決定戦～」**

(木田放送総局長)

きょう7月24日は、東京オリンピックまでちょうど1年となる日。NHKでは、オリンピック・パラリンピック本番に向けて、盛り上げ、お楽しみいただける多彩な番組をお届けしていく。

9月には、BS1「スポーツ・ヒューマン」で女子マラソンを取り上げる。9月15日、東京オリンピックマラソン代表の座をかけた、史上初の選考レースが行われる。代表3人のうち2人を“一発勝負”で決める、「MGC＝マラソングランドチャンピオンシップ」だ。レースは、オリンピック本番とほぼ同じコースで行われる。ペースメーカーはおらず、求められるのはタイムではなく順位のみ、といった、誰も経験したことがないレースに挑むのは、女子では、これまでの選考レースで基準をクリアした12人。中でも注目されているのは、「オリンピックでメダルが狙える」と言われる鈴木亜由子、松田瑞生、福士加代子の3選手だ。

番組では、これまで支えてくれた家族や仲間など、大切な人たちへの思いをひもときながら、3選手がどのような戦略で“一発勝負”の一番に臨もうとしているのか、人生をかけた戦いを追う。

NHKでは、こうした番組に加え、WEBサイトでもオリンピック・パラリンピックに関する情報を発信している。そのサイトを7月17日リニューアルし、「NHK東京2020オリンピック・パラリンピックサイト」を開設した。サイトでは今後、大会が近づくにつれ、選手や競技の見どころを伝える情報を充実し、皆さんにオリンピック・パラリンピック放送を楽しんでいただくための情報を提供していく。

また8月下旬には、パラリンピック1年前の特別番組も放送する予定。(詳細は報道資料を参照)

### (3) NHKスペシャル「全貌 二・二六事件 最高機密文書が明かす真実」 (正籬副総局長)

8月15日・終戦の日に、NHKスペシャル「全貌 二・二六事件 最高機密文書が明かす真実」を放送する。

「二・二六事件」は、1936年2月26日、首都・東京の中枢で総理大臣らが襲撃された、近代日本最大の軍事クーデター。今回NHKは、この歴史的イベントの一部始終を記録した「極秘文書」を発掘した。これまで事件に関する主な公的記録は、完全非公開で“暗黒裁判”といわれた陸軍の軍事裁判資料とされ、事件をリアルタイムで記録した1次資料はなく、多くが謎とされてきた。

事件から83年たった今、見つかった「極秘文書」は、海軍が密かに記録していたもの。これによって、青年将校たちの反乱と、その鎮圧にいたる「4日間」の詳細が明らかになった。文書には、陸軍の幹部が事件の裏で行っていた知られざる会談や、海軍が、反乱を超えた大規模な内戦まで想定して備えていたことなど、新事実の数々が残されていた。

二・二六事件の後、日本は、軍国主義を強め戦争に突入していった。首都東京を大混乱に陥れ、国家の運命を分ける転換点となった歴史的イベントの全容に迫る。

(詳細は報道資料を参照)

### (4) NHKスペシャル「東京大停電に備えろ」 (正籬副総局長)

9月1日・防災の日に、NHKでは、地震や台風など災害に関する特集番組を放送している。ことしの防災の日に放送するのは、NHKスペシャル「東京大停電に備えろ」。

去年9月の北海道胆振東部地震では、日本で初めて、大規模な停電・ブラックアウトが起きた。今回、当時の映像の解析や当事者の証言などから、北海道では、停電により医療機関の情報共有システムが機能せず、災害時の患者の受け入れに混乱が起きるなど、“医療崩壊”寸前の状態に陥っていたことが分かってきた。さらに、物流システムが寸断され、長期間にわたって食料品などの供給不足が発生していたことも明らかになった。

内閣府の想定では、首都直下地震が発生した時、電力の供給能力は5割程度に低下し、広域で停電が発生し、最悪1週間程度継続するとされている。大停電によって、どのような危機に見舞われるのか？大停電に備えるためにはどうすればよいのか？シミュレーションドラマを交え、その時への備えを考える。

(詳細は報道資料を参照)

### (5) 4Kでよみがえるあの番組 シルクロード第2部「キャラバンは西へ～再現・古代隊商の旅～」

(鈴木副総局長)

BS4Kでは9月28日に、1984年に放送された「NHK特集 シルクロード」を、新たに4K化して放送する。

当時放送したのは、16ミリカラーフィルムをVTRに変換し編集したもの。今回は、オリジナルの撮影素材のフィルム43巻の中から、番組に使用されたカットを、画像を解析する技術を使って選び出し、4Kにデジタルスキャンし再編集した。

今回ご覧いただくのは、シリアを旅した「第2部 第十五集 キャラバンは西へ」。現在のシリアは、長引く内戦で国土が荒廃し、過去の栄華を伝えるパルミラ遺跡などの世界遺産も破壊されてしまった。番組では、シリアの平和な時代の人々の暮らしと、在りし日のパルミラ遺跡の姿が、4K化により鮮明な映像でよみがえる。

なお「シルクロード」については、BSプレミアムで8月12日から、中国を旅した「第1部」全12回を放送する。

(詳細は報道資料を参照)

## (6) アナザーストーリーズ 運命の分岐点「テレビドラマの金字塔『おしん』大ヒットの舞台裏」

(鈴木副総局長)

BSプレミアム「アナザーストーリーズ 運命の分岐点」は、誰もが記憶している事件や出来事を、今だから話せる当事者の知られざる「新証言」や、時を経て見つかった「新事実」で振り返り、複数の視点から真実に迫る番組。

8月13日の放送は、連続テレビ小説「おしん」を取り上げる。現在、BSプレミアムで再放送され、今も多く反響をいただいている「おしん」は、1983年の放送当時、苦難にめげず力強く生きる主人公の姿が多くの人をひきつけ、テレビドラマ史上最高視聴率を記録し、爆発的な大ブームとなった。さらにその人気は世界へと広がり、「日本といえばおしん」と言われたほどだった。

日本人が「おしん」に投影させて見つめようとしたものは何だったのか。制作に携わった人たち、おしんの一代記に一喜一憂した視聴者たち、そしておしんに生きる勇気をもらった外国の女性たち、それぞれのアナザーストーリーをお送りする。

(詳細は報道資料を参照)

## (7) 連続テレビ小説の放送について (木田放送総局長)

NHKは、2020年に最高水準の放送・サービスを提供することを掲げ、2018年12月にBS4K、BS8Kの放送を開始した。ドラマ番組でも、4Kでの制作を進めている。大河ドラマでは、ことしの「いだてん」から4K制作を始めていて、連続テレビ小説についても、来年度前期の「エール」から4Kでの制作を開始する。

4K番組は、2Kと同時に制作する一体化制作を行っており、制作工程を共有することで効率的に制作を進めているが、2Kのみの制作にくらべ、準備や収録、編集作業に時間がかかる部分があり、制作期間が延びることが予想される。

また、番組制作にかかわる多くのスタッフや出演者の働き方についても考慮し、視聴者の皆さまに楽しんで見ていただける連続テレビ小説を継続して制作していくため、「エール」から、ドラマの新作を週5日の放送とすることにした。

土曜日の放送については、平日、連続テレビ小説を見ることのできない皆さまを意識した、新しいサービスとなるようなことができないかなど、今後の改定の議論の中で検討する。

## (8) 京都アニメーション放火事件について (木田放送総局長)

7月18日、京都市の「京都アニメーション」のスタジオが放火され、多数の死傷者が出ました。NHKの番組でもお伝えしましたが、世界中に多くのファンをもち、人々に夢や希望、感動を育んできた制作スタジオで悲惨な事件が起き、大変心を痛めています。

京都アニメーションの作品は、NHKでも数多く放送し、NHKやNHKの関連会社が制作を委託もしており、才能あふれるクリエイターの方々が命を奪われ、心からお悔やみを申し上げます。また、負傷された方々の一日も早い回復をお祈りします。